

ecoな暮らし

Bio Diesel Fuel

大切な資源を、未来のために

環境にやさしい快適な暮らしを支えるため
いつも誠心誠意取り組んでいます

1日100LのBDFを使用した場合、
年間約9.6tのCO₂が削減されます。

杉の木の吸収量に換算すると
約7,000本の代わりに相当します。



持続可能な社会
廃食用油から燃料を得る
最新バイオディーゼルフューエル

循環型社会

持続可能な社会

低炭素社会

■BDF：バイオディーゼルフューエルとは
●BDF(Bio Diesel Fuel)=バイオディーゼルフューエルは、
植物性油などを加工したディーゼルの燃料の総称です。

■BDF事業とは
●人と環境にやさしい快適な暮らしに向けて、リサイクルの
推進事業として、今までそのまま廃棄されていた
廃食用油を原料とし、エステル交換反応により、
バイオディーゼルフューエルを製造しています。これにより、
化石燃料から非化石燃料への燃料転換を推進し、
二酸化炭素の排出量の削減を図ると共に、廃棄物の
減量も推進します。
このバイオディーゼルフューエルは、清掃車両などに
軽油代替燃料として供給されます。

■BDFの規格
●現在、BDFは世界各国がそれぞれに適した植物燃料を
使用しているため、品質規格は各国が独自に設けています。
私たちはBDF先進地域であるEU規格はもとより国内における
JIS規格を基準とし、すべての項目において規格をクリアする
BDFをご提供いたします。

項目	KNS BDF	JIS規格
動粘度 (mm ² /s)	4.2	3.5~5.0
水分 (ppm)	480	500以下
メタノール (wt%)	0.02以下	0.20以下
トリグリセリド (wt%)	0.06	0.20以下
遊離グリセリン (wt%)	0.005以下	0.02以下



■BDFが車に与える問題点
●BDFをニート(100%)で利用するため、車両トラブルの
リスクが高くなることを十分理解し、自己責任において、
一定の管理下に置かれた自社の車両と、一般の限定した
車両を対象に、国土交通省が定めたガイドラインおよび
品確法を周知し規定を順守し利用します。

BIOMASS

天然資源をリサイクル活用し3Rの推進と
循環型社会の形成及び低炭素社会の構築により
持続可能な社会を守ります



■BDFと二酸化炭素
●リサイクルにおける、二酸化炭素の排出と吸収が
プラスマイナスゼロの事を「カーボンニュートラル」と
言います。植物の成長過程における光合成による
二酸化炭素の吸収量とBDFの燃焼による二酸化炭素の
排出量が中立となり、実際の大気中の二酸化炭素の
増減に影響を与えないことから、BDFはCO₂ゼロカウントで
発生抑制効果が見込めます。



BDFの原料
●植物油 (大豆油を中心に
なたね油、コーン油、紅花油など)
※動物油、ラード、魚油を除く

回収先
●学校給食や食品小売業、
外食産業からの排出物
●家庭からの排出物
●事業所から排出される産業廃棄物及び
各家庭から排出される一般廃棄物が
原料となります。



■BDF製造設備
●バイオディーゼルフューエルの製造方法は、
不純物除去の安定性・確実性の観点から
湿式生成プロセスを採用し、世界的にも
採用実績の多いアルカリ触媒法を用いた
製造装置により、高品質バイオディーゼルフューエルを
精製いたします。



■排水設備
●当該施設から公共用水域河川に排出される水を、
排水基準で定める許容限度より厳しい排水基準を定め、
よりキレイな水を自然に戻しています。

放流水質
BOD 20mg/l以下
COD 30mg/l以下
SS 70mg/l以下
n-Hex 20mg/l以下
PH 5.8 ~ 8.6

■廃棄物処理
●適正な処理をするため、国や県、市町村など
各行政機関の指導のもと廃棄物処理業許可取得。
産業廃棄物処分業・収集運搬業・特別管理産業廃棄物収集運搬業 第003426号
一般廃棄物処分業・収集運搬業

■BDFと法律
●危険物第4類第3石油類「バイオディーゼルフューエル」に該当します。
●道路運送車両法の保安基準、石油品質確保の強制基準をクリアしています。
●BDF100%で車両を使用する場合は軽油引取税の課税対象外です。
●B-5(軽油にBDF5%を混入させる)での使用の際は、課税対象です。
●回収、再生については廃棄物処理法で定められた許可が必要になります。